

◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：草加市カヌー協会「草加パドラーズ」

23A-04

代表者：代表理事 中島 清治

URL :

1. 活動が必要とされた状況

平成 26 年、草加松原が文化庁の「おくのほそ道の風景地」として名勝に指定された。そばを流れる綾瀬川は、悪臭や不法投棄ゴミで汚れ放題になっているのを見て、カヌーでの浮遊ゴミの回収活動を始めた。名勝草加松原の綾瀬川が、不法投棄ゴミであふれては、市民として大変不名誉である。市民にとって川の再生活動は急務であった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

平成 26 年 12 月に草加パドラーズを立ち上げ、活動を開始した。毎週水、土、日、祝日の午前 8 時 30 分から 2 時間程の活動である。令和 2 年は、活動回数 123 回、参加人数 1,204 名、ゴミの回収量は 992 袋（45ℓビニール袋）であった。回収した物は、ペットボトル、空き缶、空き瓶、発泡スチロール、コンビニ弁当容器、ビニール袋、家庭ごみなどである。



3. 活動の成果

平成 26 年当初は会員 2 名で始めたが、令和 2 年 12 月現在の会員数は 101 名となった。土手や橋の上から、「ありがとうございます」、「ご苦労さまです」と、声をかけてくれる人がとても増えてきた。街づくり、人づくりの成果が出てきた。6 年間で、活動回数は 839 回、参加総人数は 7,085 名、ゴミの回収総量は 4,441 袋である。ゴミ袋を積み上げると雲取山(2,017m)をはるかに超える量である。（※45ℓビニール袋 1 袋分=50cm に換算）

また、コロナ禍の中、予防措置を講じながら、夏休みカヌー教室(20 名)、カヌー体験会(198 名)、第 1 回松尾芭蕉杯カヌー大会(100 名)を開催することができた。

4. 今後に残された課題

昨年、春日部市カヌー協会と足立パドラーズを発足させた。草加市だけではなく、春日部、川口、越谷、足立区等の広範囲な流域で取り組む必要性を感じている。今後も、他市へ出向き、広範囲な活動の支援活動を充実させていきたい。そのためには、カヌー陸路運搬費、母船の航続距離が長い船外機の購入が必要である。綾瀬川上流、伝右川でのゴミ回収母船、非常時の物資運搬、人命救助など、危機管理の充実を図っていききたいと思っている。水辺を活かした安全で潤いのある街づくりを、行政と連携し積極的に取り組んでいきたいと考えている。